

第 32 回環境アセスメント動物調査手法講演会

日本環境動物昆虫学会生物保護とアセスメント手法研究部会では、1991 年から環境アセスメントや野外調査に従事しておられる技術者・研究者の方々を対象に、昆虫、野鳥、その他の動物の調査手法とデータ解析法を解説し、調査技術の一層の向上や野生生物の保全を目指す目的で講演会を開催しており、今年度は 32 回目となります。

今年度は、オンラインと対面のハイブリットとし、午後のみ 3 件の話題提供と致しました。今回もできる限り最新情報を踏まえた内容を心掛け、企画した次第でございます。

具体的には「水生昆虫の絵解き検索（水生半翅のミズムシ類、コマツモムシ類）」「AI 時代の環境調査と技術者の役割：最新の鳥類調査技術とグリーンインフラ・NbS への対応」「大阪府河内長野市での巣箱を用いたフクロウの保全活動と繁殖生態調査」の、計 3 演題で構成しております。環境アセスメントや野外調査に従事しておられる方にとりまして、役立つ内容となっております。日本環境動物昆虫学会の会員の皆様だけでなく、非会員の皆様にも是非、奮ってご参加頂けますこと、どうぞよろしくお願い申し上げます。

主催：日本環境動物昆虫学会

日時：2023 年 7 月 8 日（土）13：00～

場所：大阪公立大学 I-site なんば（大阪市浪速区敷津東 2-8-1 南海なんば第一ビル 難波・大国町近く）

開催方法：現地会場ならびにオンライン（Zoom）によるハイブリット開催を予定しております。

オンラインの受講を希望された参加者様には、ID と PW をメールにてお送りいたします。

企画・運営：生物保護とアセスメント手法研究部会

平井規央（部会長）、今井健介、上田昇平、加藤敦史、千々岩哲、中上喜史、林 成多、松野茂富、八尋克郎

内容

1. 水生昆虫の絵解き検索（水生半翅のミズムシ類、コマツモムシ類）（13：00～14：10）

三田村敏正（福島県農業試験場）

近年、水生昆虫の書籍が相次いで出版され、毎年のように新種が記載されている。これらの中で、同定が困難とされている水生半翅のミズムシ類およびコマツモムシ類について、最近の知見も交えわかりやすく解説する。

2. AI 時代の環境調査と技術者の役割：最新の鳥類調査技術とグリーンインフラ・NbS への対応（14：20～15：30）

上野裕介（石川県立大学）

少子高齢化による熟練技術者の減少、先進技術の導入、グリーンインフラ等の自然保護から自然活用への社会的要請など、大転換期を迎えている環境調査の技術と課題、対策について、自身の国総研時代からの研究例なども交えてお話しします。

3. 大阪府河内長野市での巣箱を用いたフクロウの保全活動と繁殖生態調査（15：40～16：50）

村濱史郎（日本バードレスキュー協会）

2014 年から河内長野市で実施している巣箱を用いたフクロウの保全活動により見えてきた河内長野市内での同種の分布状況と IC レコーダーやアクションカム、トレイルカメラなどを用いた繁殖生態の調査について紹介します。

参加概要

<参加費>

会員 3,000 円（個人会員、法人会員（維持・賛助）の企業及び団体に所属されている方）

非会員 4,000 円

学生会員 2,000 円

<申し込み方法>

申込方法： 件名を「環境アセスメント講演会申し込み」とし

①氏名

②ご所属、住所、メールアドレス、電話番号

③会員種別（本学会員（正、賛助、維持、学生）、非会員）

④参加方法（会場、Web(Zoom)）

以上 4 項目を記載し E mail（kandoukon@outlook.jp）までお送りください。

後日、受付終了の返信メールを送ります。1 週間以内に返信メールが届かない場合は再送信ください。

参加費は、下記、銀行振込にてお振込みください。

参加費振込先

三菱 UFJ 銀行 信濃橋支店 日本環境動物昆虫学会 普通 0264018